

評価手法の検討について

(3)実績等

(全1、2)

事業全体－県民の理解、意識－県民への情報提供－PRの状況
事例集の作成

あいち森と緑づくり事業PR状況一覧

区分	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
イベント	77回	41回			
説明会・打合せ	325回	301回			

うち、メディア別PR状況

メディア	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
テレビ					
ラジオ					
新聞					
ポスター	集計中				
記者発表	集計中				
体感ツアー					
税の通知等					
県税の手引き等					
市町村広報					

事例報告配布状況

区分	平成21年度版	平成22年度版	平成23年度版	平成24年度版
県庁及び出先事務所	36,870部	37,000部		
コンビニエンスストア	99,030部	100,000部		
合計	135,900部	137,000部		

※平成22年度版は見込み

コンビニエンスストアは、県が包括協定を締結している以下の4社

会社名	店舗数	
	平成21年度	平成22年度
サークルKサンクス	1,039店舗	1,061店舗
ローソン	365店舗	365店舗
ファミリーマート	442店舗	428店舗
セブンイレブン	600店舗	600店舗
合計	2,446店舗	2,454店舗

※1店舗あたり30部配布

(全4)
事業全体－県民の理解、意識－事業全体に対する県民の理解度

森林関係のイベントでのあいち森と緑づくり事業に関するアンケート集計結果

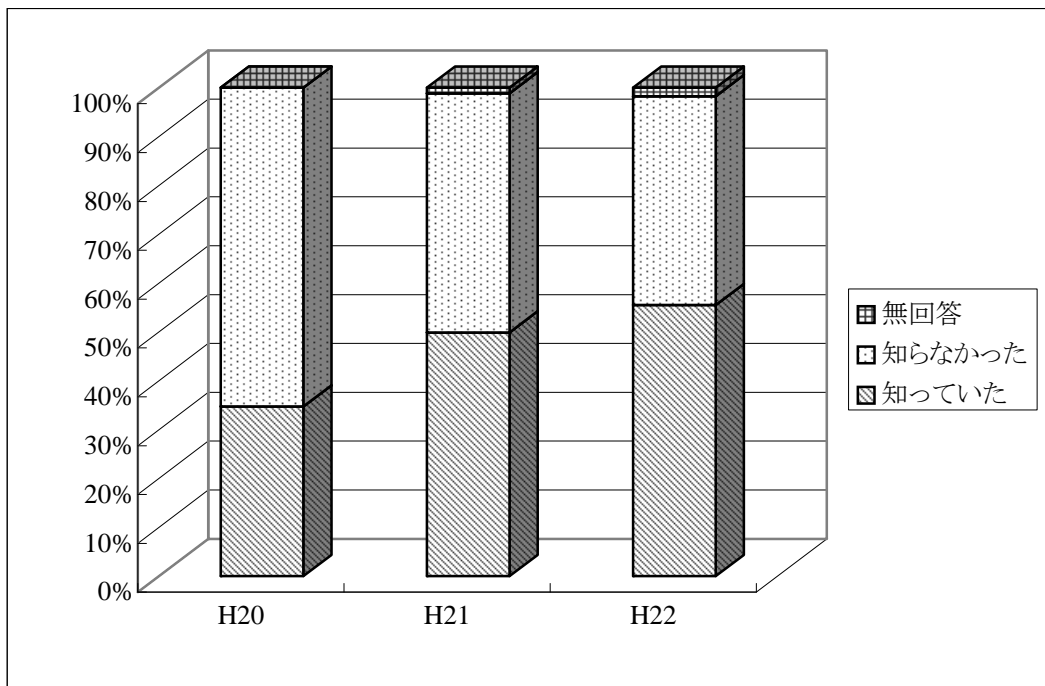
問い:あいち森と緑づくり事業について知っていたか

人数

区分	H20	H21	H22	H23	H24	H25
知っていた	25人	1,095人	510人			
知らなかった	47人	1,075人	393人			
無回答	0人	25人	16人			
計	72人	2,195人	919人			

上の比率

区分	H20	H21	H22	H23	H24	H25
知っていた	35%	50%	55%			
知らなかった	65%	49%	43%			
無回答	0%	1%	2%			
計	100%	100%	100%			



※H20は森と緑づくり体感ツアーでのアンケート結果

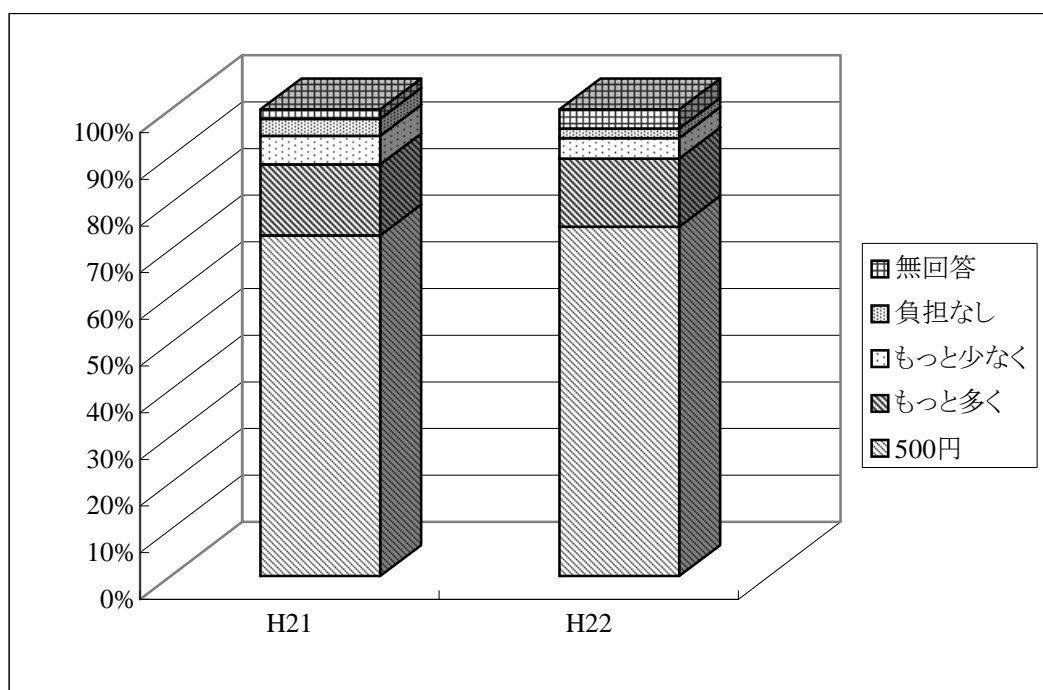
問い:税額はどれくらいが適当か

人数

区分	H21	H22	H23	H24	H25
500円	1,546人	656人			
もっと多く	322人	128人			
もっと少なく	130人	38人			
負担なし	77人	18人			
無回答	43人	36人			
計	2,118人	876人			

上の比率

区分	H21	H22	H23	H24	H25
500円	73%	75%			
もっと多く	15%	15%			
もっと少なく	6%	4%			
負担なし	4%	2%			
無回答	2%	4%			
計	100%	100%			



(人1、2)

人工林－事業計画に対する達成率－あいち森と緑づくり事業計画に対する達成率
他事業を含む県全体の整備率

あいち森と緑づくり人工林整備事業の達成率

区分	年度					合計
	H21	H22	H23	H24	H25	
奥地	342ha	645ha				987ha
公道・河川沿い	411ha	877ha				1,288ha
計	753ha	1,522ha				2,275ha
計画面積	750ha	1,500ha				2,250ha
達成率	100.4%	101.5%				101.1%

県全体の整備面積に対する比率

事業	年度					合計
	H21	H22	H23	H24	H25	
あいち森と緑づくり	753ha	1,522ha				2,275ha
県の間伐実績量	4,674ha	5,228ha				9,902ha
整備率	16%	29%				23%

(人3)

人工林－公益的機能の向上－下層植生の発生状況

事業実施箇所を含む強度間伐実施箇所等の植生回復状況の調査

1 目的

あいち森と緑づくり人工林整備事業の強度間伐実施地において、施業地の実態と経年変化を調査するとともに、試験地を設定し実生の発生・消長や成長をモニタリングしてその効果を調査し、植生回復状況を検証する。

2 調査機関

愛知県森林・林業技術センター

3 調査概要

(1)実態調査(事業地)

あいち森と緑づくり人工林整備事業地において、調査地 60 ヶ所を設定し、実態を調査する。

調査地は 20m×20m とし、これを 4 分割し、各区の立地環境、毎木、植生、間伐率を調査する。

(2)植生等動態モニタリング(事業地以外)

事業地とは別に試験地 9 ヶ所を設定し、植生等の動態をモニタリングする。

調査地は 15～20m×15～20m とし、立地環境や毎木調査を行い、胸高断面積の 40%を間伐した。この中に 1×1m の方形枠を 35～40 個設定し、実生の発生・消長、食害の発生状況を調査する。調査区は、間伐海苔網区、間伐区、対象区の 3 調査区を設定した。

4 調査結果の PR

あいち森と緑づくり人工林整備事業地での成果、強度間伐(40%)の成果をパンフレット及びチラシ等で周知する。また、事業の成果は短期間では出ないことが予想されることから、今後継続して調査をしていく。

(人4)
人工林－公益的機能の向上－公益的機能の数値化

整備した 6,775ha の森林は、次のような働き(森林の公益的機能)が期待されます。

①二酸化炭素の吸収量

10.5万人 の人間が呼吸により年間に排出する量の二酸化炭素を吸収します。
また、自家用自動車排気する年間の二酸化炭素では 1.5万台 に相当します。

森林は光合成により二酸化炭素を吸収し酸素を放出する。このような働きは、森林の「二酸化炭素吸収機能」として評価される。
◇二酸化炭素吸収量試算

$$\begin{aligned}
 & \overset{\text{※1}}{1.35\text{t-C}} \times \overset{\text{※2}}{3.67} = 4.95\text{t-CO}_2 \\
 & 4.95\text{t-CO}_2 \times 6,775\text{ha} = 33,567\text{t-CO}_2 \\
 & 33,567\text{t-CO}_2 \div \overset{\text{※3}}{320\text{kg}} = 10.5\text{万人} \\
 & 33,567\text{t-CO}_2 \div \overset{\text{※4}}{2,300\text{kg}} = 1.5\text{万台}
 \end{aligned}$$

H21	753ha
H22	1,522ha
H23	1,500ha
H24	1,500ha
H25	1,500ha
計	6,775ha

- ※1 1haあたりの炭素吸収量(林野庁試算数値)
- ※2 二酸化炭素の重量に換算 $44(\text{CO}_2\text{分子量}) \div 12(\text{Cの原子量}) \div 3.67$
- ※3 人間1人が呼吸により排出する年間二酸化炭素排出量(林野庁HPから引用)
- ※4 自家用車1台の年間二酸化炭素排出量(林野庁HPから引用)

②水資源の貯蓄量

19.3万人 の年間の生活用水に相当する水資源を蓄えます。

森林は雨水を土壤に浸透させ、水質を改善し、利用可能な水として少しずつ安定的に河川等に流出させる働きがある。
このような働きは、森林の「水源涵養機能」として評価される。

◇流域貯水量試算(日本学術会議の「森林の公益的機能評価額」算出方法に基づく)

$$\begin{aligned}
 & \overset{\text{※5}}{3,151,000\text{t}} \times 6,775\text{ha} = 21,348,025,000\text{t} \\
 & 21,348,025,000\text{t} \div \overset{\text{※6}}{110,595\text{t}} = 19.3\text{万人}
 \end{aligned}$$

- ※5 1haあたりの流域貯水量
- ※6 1人あたり年間使用料(2007年値、国土交通省水資源部調べ)

③土砂の流出防止

10tダンプトラック 32.2万台 分の土砂の流出を防ぎます。

森林は降雨による地表への衝撃エネルギーを緩和するとともに、落葉落枝により地表面の浸食を抑制する。
また、森林土壌の浸透能が高いため、地表を流れる雨水の量を減少させる。

このような働きは、森林の「土砂流出防止機能」として評価される。

◇浸食防止量試算 (森林と無立木地の浸食土砂量の差を森林による浸食防止量とする
日本学術会議の「森林の公益的機能評価額」算出方法に基づく)

$$\begin{aligned}
 & \overset{\text{※7}}{261\text{m}^3} \times 6,775\text{ha} = 1,768,275\text{m}^3 \\
 & 1,768,275\text{m}^3 \div \overset{\text{※8}}{5.5\text{m}^3} = 32.2\text{万台}
 \end{aligned}$$

- ※7 1haあたりの浸食防止量
- ※8 10tダンプトラック容量

(人5)
人工林－公益的機能の向上－費用対効果の試算

事業名	0	都道府県名	愛知県	計画区名(路線名)	0
計画策定主体	0	森林面積	0.00	計画期間	H0 ~ H0

項 目		費用額(森林整備分)	費用額(路網整備分)	費用額(計)	備 考
		現在価格 (千円)	現在価格 (千円)	現在価格 (千円)	
総事業費 (内維持管理費)		0	0	0	←C
区 分	項 目	効果額(森林整備分)	効果額(路網整備分)	効果額(計)	備 考
		現在価格 (千円)	現在価格 (千円)	現在価格 (千円)	
水源かん養便益	洪水防止便益	0		0	
	流域貯水便益	0		0	
	水質浄化便益	0		0	
小 計		0	0	0	
山地保全便益	土砂流出防止便益	0		0	
	土砂崩壊防止便益	0		0	
小 計		0	0	0	
環境保全便益	炭素固定便益	0		0	
	気候緩和便益			0	
	騒音軽減便益			0	
	飛砂軽減便益	0		0	
	風害軽減便益	0		0	
	大気浄化便益			0	
	霧害軽減便益			0	
	火災防備便益			0	
	漁場保全便益			0	
	生物多様性の保全便益			0	
	保健休養便益	0		0	
	小 計		0	0	0
木材生産便益	生産等経費縮減便益			0	
	利用増進便益			0	
	生産確保・促進便益	0	0	0	
	森林整備分 路網整備による増進分	0	0	0	
小 計		0	0	0	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	0	0	0	
	歩行時間等経費縮減便益			0	
	作業道作設経費縮減便益			0	
	治山経費縮減便益			0	
	森林管理等経費縮減便益			0	
小 計		0	0	0	
一般交通便益	走行時間短縮便益			0	
	走行経費減少便益			0	
小 計		0	0	0	
森林の综合利用便益	アクセス時間短縮等便益	0	0	0	
	アクセス時間短縮便益			0	
	アクセス経費減少便益			0	
	ふれあい機会創出便益			0	
	フォレストアメニティ施設利用便益	0	0	0	
	利用確保便益			0	
	施設滞在便益			0	
小 計		0	0	0	
災害等軽減便益	災害時迂回路等確保便益			0	
	防火帯便益			0	
	災害復旧経費縮減便益			0	
小 計		0	0	0	
維持管理費縮減便益				0	
山村環境整備便益	生活用水確保便益			0	
	生活排水浄化便益	0	0	0	
	し尿処理経費等縮減便益			0	
	浄化槽設置経費縮減便益			0	
	集落内臭気防止便益			0	
	集落内除雪便益			0	
	土地創出便益			0	
小 計		0	0	0	
その他の便益	通行安全確保便益			0	
	環境保全確保便益			0	
	森林内施設管理経費縮減便益			0	
	ボランティア誘発便益			0	
小 計		0	0	0	
合 計		0	0	0	←B
費用対効果分析			B/C=	#DIV/0!	

(人9、11、12)

人工林－その他波及効果－雇用効果
森林所有者事業界の明確化
団地の設定

雇用効果、森林所有者事業界の明確化、団地の設定とりまとめ

項目	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	合計
設計上の人工数	集計中					
筆数	集計中					
面積	752.9ha	1521.81ha				2274.7ha
団地数(発注数)	34団地	60団地				94団地

(人12)

人工林－その他波及効果－団地の設定

あいち森と緑づくり人工林整備事業における活動団体

事務所	課	市町村	団体名	設立年	代表者			団体の構成
					氏名	連絡先	その他情報	
豊田加茂農林水産事務所	林務課	豊田市	森づくり会議 (H22年度末 現在70会議設置) あいち森と緑づくり事業 に取り組んでいる会議 は、下表のとおり41会議	H19.10.20～	豊田市	豊田市産業部 森林課 豊田市足助町 宮ノ後19番地5 電話(0565)62- 0602	豊田市は、森林所有者が自主的に森づくりに取り組むための仕組みとして、地域森づくり会議の設立と団地化を推進し、間伐を効率的に行っている。県は、豊田市及び各地域森づくり会議と連携・調整し、あいち森と緑づくり人工林整備事業を積極的に実施している。	森づくり会議は、町や自治区等を単位として、地域の意欲のある森林所有者等で構成する組織。
新城設楽農林水産事務所	林業振興課	東栄町	森林整備事業古戸推進会	平成21年9月	初澤宣亮	東栄町大字振草字古戸日蔭6番地1	町議会議員	東栄町古戸地区の住民有志
		設楽町	荒尾区	—	遠山碩幸	設楽町荒尾字万場貝津65	区長	設楽町荒尾区の住民有志
		設楽町	油戸組	—	高木弘行	設楽町津具字下木地山4	組長	設楽町油戸組の住民有志
		東栄町	—	平成21年度	尾林良隆	東栄町大字中設楽字柿平14番地	県OB・東栄町森林組合代表理事組合長	尾林さんの声掛けで中設楽の布川地区住民がまとまった
		設楽町	—	平成21年度	小川信二	設楽町豊邦字ムカヒ21	山百合荘豊邦直売所経営	小川さんの声掛けで豊邦区がまとまった
		設楽町	田内区	平成21年度	後藤良三	設楽町田内字横手前8		設楽町田内区の住民有志
		設楽町	小代地区	平成21年度	加藤勝基	設楽町清崎字日カケ24-1		加藤さんの声掛けで、清崎から塩津地区の住民がまとまった
	新城林務課	新城市	大野財産区管理会	—	請井重夫	新城市大野字小林12	会長	財産区役員が中心となって大野地区の取りまとめを実施

※尾張、西三河、東三河管内については該当する団体がない。

<参考>人工林整備事業実施に関わる森づくり会議 (H23.7月末現在)

設立年度	森づくり会議名		
H19年度 (9会議)	羽布地域森づくり会議	和合地域森づくり会議	柵ノ沢地域森づくり会議
	阿蔵地域森づくり会議	神殿地域森づくり会議	田平沢地域森づくり会議
	梶地域森づくり会議	野原地域森づくり会議	加塩地域森づくり会議
H20年度 (20会議)	小峯地域森づくり会議	西檜尾地域森づくり会議	大坪地域森づくり会議
	日明地域森づくり会議	上八木地域森づくり会議	押井地域森づくり会議
	田代地域森づくり会議	川面地域森づくり会議	下切地域森づくり会議
	久木地域森づくり会議	黒坂地域森づくり会議	小田木地域森づくり会議
	大和地域森づくり会議	立岩地域森づくり会議	押山地域森づくり会議
	明和地域森づくり会議	梨野地域森づくり会議	大野瀬地域森づくり会議
	御内地域森づくり会議	宇連野地域森づくり会議	
H21年度 (11会議)	東宮口地域森づくり会議	玉野地域森づくり会議	御所貝津町地域森づくり会議
	李地域森づくり会議	五反田地域森づくり会議	富永地域森づくり会議
	西市野々地域森づくり会議	四ツ松地域森づくり会議	桑原地域森づくり会議
	明川地域森づくり会議	小滝野・閑羅瀬地域森づくり会議	
H22年度 (1会議)	野入地域森づくり会議		

計:41会議

(人13)

人工林－その他波及効果－間伐材の利用状況

間伐材の利用状況

年度ごとの実績

区分	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	合計
材積	1,467.36 ^{m³}	3,211.49 ^{m³}				4,678.85 ^{m³}

(里1)
里山林－あいち森と緑づくり事業計画に対する達成率

あいち森と緑づくり里山林整備事業実績

(箇所)

事業名	21実績	22実績	23見込	24	25	計
里山林再生整備事業(県営事業)	2	4	6			12
提案型里山林整備事業(市町村交付金事業)	5	6 (3)	2 (1)			13 (4)
里山林健全化整備事業(市町村交付金事業)	2	5	7			14
計	9	15 (3)	15 (1)			39 (4)
計画	9	19	19			47
達成率	100.0%	78.9%	78.9%			83.0%

注:()は、前年度からの継続事業の重複箇所、外数

<参考>面積別実績

(ha)

事業名	21実績	22実績	23見込	24	25	計
里山林再生整備事業(県営事業)	4.0	10.9	19.3			34.1
提案型里山林整備事業(市町村交付金事業)	13.6	23.9 (3.8)	6.9 (4.9)			44.4 (8.7)
里山林健全化整備事業(市町村交付金事業)	1.8	15.6	15.0			32.4
計	19.4	50.3 (3.8)	41.2 (4.9)			110.9 (8.7)

注:()は、前年度からの継続事業の重複部分、外数

(里2)

里山林－あいち森と緑づくり事業計画に対する達成率

里山林整備事業関係の相談件数 集計表

年度	森林所有者	地区自治会等	ボランティア団体等	市町村	その他			計	うち採択件数	備考
20										
21										
22					集計中					
23										
24										
25										
計										

- ・「市町村」には、要望調査の回答分も含む。
- ・1案件(事業地)に係るものは、複数回の相談があったとしても、1件として計上する。
- ・年度を越える案件は、原則として初年度に計上する。
- ・前述項目との重複の場合は、()書きで内数表示とする。

里山林整備事業関係の不採択理由 集計表

理由	年度						計	備考
	20	21	22	23	24	25		
対象森林ではなかった	地域森林計画対象民有林ではなかった							
	都市近郊(都市計画区域)ではなかった							
	集落や公共施設等の周辺ではなかった							
	保安林だった							
	人工林だった							
	放置された森林ではなかった							
	「森林と人との共生林」ではなかった							
	1事業地5ha以上だった(提案型里山林整備事業の場合)							
	公有林だった (里山林再生整備事業、里山林健全化整備事業の場合)			集計中				
	公社造林地だった (里山林再生整備事業、里山林健全化整備事業の場合)							
協定が結ばなかった								
小面積だった								
予算規模が大きすぎた								
事業内容以外の要望だった								
他事業の案件だった								
その他								
計								

- ・複数選択可。

1 活動団体による調査

(1) 目的

植生の変化や開花促進等の状況把握

(2) 調査者

里山林整備事業地の地域活動団体（関係県農林水産事務所の協力）

(3) 調査対象地

里山林整備事業地で協力を得られるところ

(4) 調査概要

目標とする里山林に近付いているか等の調査

(例)・植物の種類数に変化が見られた

- ・衰退状態だった植物が回復（開花）した
- ・本来生息すべき植物が見られるようになった
- ・見通しの良い、観察しやすい林内になった

(5) 調査方法

「里山林整備の手引き」（森林・林業技術センター23年度末に作成予定）で、示す予定。

2 森林・林業技術センターによる調査

(1) 目的

里山林整備事業地において、植生回復状況を調査する。

(2) 調査機関

森林・林業技術センター

(3) 課題名

里山林の施業効果のモニタリング

(4) 調査期間

平成24～28年度（継続の可能性あり）

(5) 調査概要

里山林施業地における林床植生の回復状況や病虫獣害の実態を明らかにする。

(6) 調査対象地

里山林整備事業地の森林整備区域

(7) 参考

里山林整備事業地での調査と合わせて、別に調査区を設けて植生等動態調査を実施し、施業実施後の里山林管理手法を検討する。

平成 年度 里山林整備活動報告書

事業名：

活動場所：

団体名：

会員数：

月日	曜日	活動内容	参加者(人)				施設利用状況					備考
			会員	一般	その他	計						

※その他：講師、県・市町村職員等

記述例：

平成23年度 里山林整備活動報告書

事業名：平成22年度提案型里山林整備事業

活動場所：〇〇市〇〇町(〇〇山)

団体名：〇〇会

会員数：約30人

月日	曜日	活動内容	参加者(人)				施設利用状況					備考
			会員	一般	その他	計	作業小屋	トイレ	チェンソー	草刈り機	ヘルメット	
5.1	日	草刈り	10			10	○	○		○	○	
10.1	月・祝	きのこ収穫祭	10	30	5	45	○	○				
計			200	150	50	400	10	15	10	10	20	

※その他：講師、県・市町村職員等

(都1)
都市緑化－事業全体に対する達成率－施策実施市町村数

あいち森と緑づくり都市緑化推進事業実績

実施市町村数

	21実績	22実績	23見込み	24	25	目標	達成率(%)
市町村数	21	35	43			51 市町村	84.3%

実施市町村数(累計)

事業名	21実績	22実績	23見込み	24	25
身近な緑づくり事業(市町村交付金事業)	7	11	10		
緑の街並み推進事業(民間への間接交付事業)	3	8	17		
美しい並木道再生事業(市町村交付金事業)	8	10	9		
県民参加緑づくり事業(市町村交付金事業)	14	23	25		
合計	32	52	61	0	0
目標(平成30年)	80	80	80	80	80
達成率(%)	40.0%	65.0%	76.3%	0.0%	0.0%

実施箇所数

単位:箇所

事業名	21実績	22実績	23見込み	24	25	合計	目標(平成30年)	達成率(%)
身近な緑づくり事業(市町村交付金事業)	8	18	11			37	60 箇所	61.7%
緑の街並み推進事業(民間への間接交付事業)	39	65	52			156	460 件	33.9%
美しい並木道再生事業(市町村交付金事業)	8	14	13			35	24 箇所	145.8%
県民参加緑づくり事業(市町村交付金事業)	20	64	79			163	600 回	27.2%
合計	75	161	155	0	0	391		

<参考>面積(延長)別実績

事業名	21実績	22実績	23見込み	24	25	合計
身近な緑づくり事業(市町村交付金事業)	23,882	71,767				95,649 m2
緑の街並み推進事業(民間への間接交付事業)	13,981	16,247				30,228 m2
美しい並木道再生事業(市町村交付金事業)	5,050	8,617				13,667 m
県民参加緑づくり事業(市町村交付金事業)	21,622	25,731				47,353 m2
合計						

<参考>植栽本数別実績

単位:本

事業名	21実績	22実績	23見込み	24	25	合計
身近な緑づくり事業(市町村交付金事業)	29,567	24,169				53,736
緑の街並み推進事業(民間への間接交付事業)	7,624	18,667				26,291
美しい並木道再生事業(市町村交付金事業)	2,357	4,949				7,306
県民参加緑づくり事業(市町村交付金事業)	35,579	24,661				60,240
合計	75,127	72,446	0	0	0	147,573

<参考>参加人数実績

単位:人

事業名	21実績	22実績	23見込み	24	25	合計
県民参加緑づくり事業(市町村交付金事業)	5,969	13,750				19,719

(都5)
都市緑化－その他波及効果－優良な緑化件数

事業名
身近な緑づくり事業

		概 要	配点	A市**町 (**公園)	A市**町 (**広場)	B市**町 (**緑地)	C市**町 (**公園)
計画への位置づけ	緑の基本計画に位置づけ						
	市町村条例への位置づけ	保存緑地等					
	市町村地域防災計画への位置づけ						
	その他の計画への位置づけ	計画名:					
環境	緑のリサイクル、建設副産物のリサイクル	具体例:					
	保存樹林の割合	保存樹林の割合: (%)					
	保存樹林の樹高	樹高:					
	絶滅危惧種、希少種等の保存、繁殖	絶滅危惧種・希少種名:					
安全の確保	災害時における遮断緑地						
対象地域の土地利用	DID区域内						
	市街化区域内						
	市街化調整区域内の既存集落						
	市街化調整区域で近隣の集落等の環境改善等に寄与						
	市街化調整区域で緑に関するネットワークの形成・強化に寄与	緑のネットワーク、風の道、生態系ネットワークなど					
住民参加	計画・設計段階での住民参加	ワークショップの定期的な開催等					
	整備段階での住民参加	グラウンドワーク等					
	管理段階での住民参加						
	参加人数	(人)					
緑化規模	緑化面積	(m2)					
	本数	(本)					
その他	歴史的文化財等の保全、活用	施設名:					
	整備後に市町村等で開催するイベント会場	イベント内容:					
	高齢者、障害者への配慮:バリアフリー新法に準拠						
	他事業との連携	具体例:					
	周辺公園緑地との連携	具体例:					
	マスコミ取材	取材媒体()					
	特徴的及び先進的な取組	取組内容()					
合計点数			点	点	点	点	点

※満点の8割以上が優良な緑化、5割から8割が良好な緑化、5割以下が標準的な緑化

(環1、2、3)

環境活動・学習－事業計画に対する達成率－交付金交付事業数、交付金額、応募事業数の状況

事業計画に対する達成率

■交付金交付事業数の実績（環1）

年度	交付金交付事業数
平成21年度	45
平成22年度	87
平成23年度	95*

※平成23年度については交付決定事業数

■交付金額の実績（環2）

年度	要望額（円）	交付額（円）
平成21年度	61,161,825	26,104,067
平成22年度	69,334,745	51,483,443
平成23年度	64,700,512	55,624,132*

※平成23年度については交付決定額

■応募事業数の状況（環3）

年度	応募事業数
平成21年度	78
平成22年度	97
平成23年度	100

(技1)

技術者養成－あいち森と緑づくり事業計画に対する達成率－事業計画に対する達成率

森林整備技術者養成事業 事業計画に対する受講者数

全体計画の 養成計画	項目	年度計画					合計
		H21	H22	H23	H24	H25	
200人	単年度計画	35人	45人				80人
	単年度実績	30人	46人				76人
	達成率	86%	102%				95%

(技3)

技術者養成－あいち森と緑づくり事業計画に対する達成率－養成技術者の従事状況

森林整備工事競争入札参加資格者の推移

年次	分類				合計
	森林組合	建設業(土木他)	建設業(造園他)	木材業	
H20.5.1	9	16	9	6	40
H20.8.1	9	16	11	6	42
H20.9.1	9	16	12	6	43
H20.10.20	8	16	12	6	42
H20.12.1	8	17	12	6	43
H21.9.1	8	17	12	7	44
H21.11.1	8	18	12	7	45
H21.12.1	8	19	12	7	46
H22.4.1	8	19	15	6	48
H22.5.6	8	20	15	8	51
H22.7.1	8	20	16	8	52
H22.12.1	8	21	16	8	53
H23.4.1	8	21	17	8	54
H23.7.1	8	21	18	8	55
H23.8.1	8	21	19	9	57
H23.9.1	8	21	20	9	58

あいち森と緑づくり人工林整備事業の従事内訳

区分	年度				
	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
森林組合	8	7			
建設業(土木他)	5	5			
建設業(造園他)	0	0			
木材業	1	1			
合計	14	13			

(木1)
木の香る学校づくりーあいち森と緑づくり事業計画に対する達成率

木の香る学校づくり推進事業 全体計画に対する実績

年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	合計
計画	3,500セット	7,000セット	7,000セット			17,500セット
実績	(1,290セット)	(1,045セット +机125台)	(9,613セット +机1,627台 +椅子70台)			(11,948セット +机1,752台 +椅子70台)
	1,290セット	1,108セット	10,462セット			12,859セット
達成率	36.9%	15.8%	149.5%			73.5%

※平成23年度は実績見込み数量

(木6、7)

木の香る学校づくりーその他波及効果ー取り扱い業者数、事業実施業者数
製品数

「木の香る学校づくり推進事業」愛知県産木材使用机・椅子製作業者数・製品数の推移

	業者数	製品数
平成21年度	5	19
平成22年度	6	23
平成23年度	6	24

【参考：ホームページに掲載の製作者】

製作者	型番	区分	備考	平成21年度	平成22年度	平成23年度
アイリスチトセ株式会社	アイリスその1	一部木製	机、椅子	○	○	○
株式会社杉生	杉生その1	全部木製	机、椅子	○	○	○
	杉生その2	一部木製	天板	○	○	○
株式会社新城家具販売	S-RF-T3	全部木製	中学生用セット	○	○	○
	S-RF-S3	全部木製	小・中学生用セット			○
第一工業株式会社	KG-W200-SP	全部木製	机		○	○
	CR-W200-SP	全部木製	椅子		○	○
	KG-1500-ASO	一部木製	机	○	○	○
	CR-1000-AST	一部木製	椅子	○	○	○
	1000-AS	一部木製	机	○	○	○
	KGZ-2450-ASO	一部木製	机	○	○	○
	CR-2000-AST	一部木製	椅子	○	○	○
	KGZ-2000-AS	一部木製	机	○	○	○
	CR-0200-AST	一部木製	椅子	○	○	○
株式会社オリバー	SD-3000・Q(L/S)	全部木製	机	○	○	○
	SC-3000・Q(L/S)	全部木製	椅子	○	○	○
	SD-1000・P(2~6)	全部木製	机	○	○	○
	SC-1000・P(2~6)	全部木製	椅子	○	○	○
	SD-7000・G(L/S)	一部木製	机	○	○	○
	SC-7000・G(L/S)	一部木製	椅子	○	○	○
	SD-5000・G(1~6)	一部木製	机	○	○	○
	SC-5000・G(1~6)	一部木製	椅子	○	○	○
株式会社竹内家具	竹内その1	全部木製	机、椅子		○	○
	竹内その2	全部木製	机、椅子		○	○
製造業者数				5	6	6
製品数				19	23	24